



今日から明日

船橋市立船橋特別支援学校

1月号

令和8年 1月 6日発行

【金堀校舎】船橋市金堀町349-1 / 047-457-2111

【高根台校舎】船橋市高根台2-1-1 / 047-466-3631

令和8(2026)年のスタートです。年始の節目にあたり、子供たちは「今年こそは」と新しい目標を立てたり夢を描いたりしていることでしょう。自分のやりたいこと、がんばってみたいことの実現のために、今できることは何かを考え、計画を立て是非実行してほしいと思います。「継続は力なり」と言います。小さなことでも、当たり前のことでも、続けることは大きな成果、成長に繋がると信じています。今年は十干十二支では「丙午」になります。非常に活気に満ち、社会が大きく動くエネルギーにあふれる年だと言われます(諸説あります)。これから3月までは今年度の「まとめ」と同時に、次のステップへ向けた「助走」を始める時期でもあります。子供たち一人一人が自分の目標に向かって、力強く走る馬のように前に進んでいけるよう、職員一同支えてまいります。保護者、地域の皆様には、昨年同様、温かいご理解ご協力をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

校長 神田 順子

各学部の様子

< 小学部 >

「音楽発表会」開催

11日、12日と「音楽発表会」を行いました。多くの保護者に参観していただき、子供たちは緊張しながらも発表をすることができました。歌唱や器楽、音楽遊び、そして身体表現など普段の授業での活動をステージ上でめいっぱい披露することができました。大きなたくさんの拍手をもらい満足感いっぱい終わることができました。



1年生



3年生



5年生

郵便局見学

4年生は単元「てがみをかこう」で船橋東郵便局に電車に乗って行きました。郵便の配達や手紙の仕分けなどの様子を見ました。郵便バイクにも乗せてもらいました。最後に郵便局長さんに「いちばん大変な仕事は何ですか」などの質問をしました。東郵便局の皆さんありがとうございました。



<中学部>

今年も12月9日から11日の3日間で、なかま座公演、合同発表会を金堀校舎体育館で行いました。今年は学年ごとに一つの演目を演じ、学年全員で発表をしました。それぞれ素敵なお衣装を身に着け音楽に合わせてダンスをしたり、いろいろな小道具を使ってそのシーンを表現したりと、どの学年も見所満載の発表となりました。小学部6年生や高等部の先輩、近隣中学校の特別支援学級や保育園のみなさん、保護者や一般の方々など多くの方々が参観され、たくさんの拍手をいただき、大いに盛り上りました。



<演目>

- 1 1年生「時代を超えるアイドルステージ
～未来をつくるアイドルたち～」
- 2 2年生「市船JAPAN
～これぞ日本の伝統文化！～」
- 3 3年生「劇団 Starbow」

<高等部>

今年度の高等部は、例年実施してきた「冬市」を行わず、作業班ごとに活動に取り組み、ママさんバレーの「さざんか杯」での販売をはじめ、イオン船橋やエポカ高根台での校外販売、割烹料理店や学校関係へ製品の納品などを行いました。また、新製品開発に向けてアンデルセン公園を訪れ、素材やデザインの研究を行った作業班もありました。

12月9日(火)台湾の桃園市立特殊学校とオンライン交流を行いました。当日は、画面を通して相手校の学校紹介を見たり、説明を聞いたりして台湾の学校生活や学習の様子に触れる貴重な機会となりました。本校からは、作業学習の様子を動画や実演で紹介し、生徒が自分の言葉で活動内容や工夫している点を説明しました。緊張しながらも相手に伝えようとする姿が印象的で、国や言葉の違いを越えた温かな交流となりました。



「さざんか杯」での販売



「エポカ高根台」での販売



オンライン交流

<芸術鑑賞教室>

(高根台校舎)

12月22日(月)PPP(Percussion Performance Players)を招待しました。様々な打楽器で移動しながらの演奏を聞いたり、おなじみの運動会メドレーと一緒に盛り上ったりして一日を楽しみました。

(金堀校舎)

12月19日(金)マリンバ奏者の皆さんによるRhythm Palette presents~ぱれっとの森音楽会が行われました。子どもたちはマリンバの心地よい音色に耳を傾けていました。終盤にはリクエスト曲Mrs.GREEN APPLE「ライラック」の演奏があり、大いに盛り上りました。